

助けに来たぞ!



早く水に連れて~



運者でー。



その①：お魚救出作戦

2月24日、阿波市(旧吉野町)の北部幹線水路工事現場にて、工事の関係で一時的に分断された水路に取り残された魚たちをもとの水路に移動させる「救出作戦」を行いました。約500mの水路トンネル区間に取り残された魚を網で捕獲、移動しました。レスキュー隊?の感嘆では約1,000匹もの鯉、フナ、ナマズ等が救出できたとのこと。かなりの大物も多く、まだまだ本地区に残る自然を実感するとともに環境に配慮した事業推進の重要性を再認識しました。

その②：現場周辺の清掃活動

昨年12月26日、阿波市(旧吉野町)の北部幹線水路工事現場周辺の清掃活動を国営事務所の職員と工事請負者が共同で行いました。

この地区は、静かな住宅地での工事ということで住民の方々には日頃、大変なご迷惑をおかけしていることから、工事への取組姿勢、地域環境への配慮などを何から何までお伝えし、お声をおかけいただき、これからも機会を作って、こうした取り組みを続けていこうと考えております。



— 吉野川下流域土地改良区 —
平成17年度の理事会・総代会を開催しました。

理事会：2月27日(月)14時～ 徳門市地産産業振興センター
総代会：3月22日(水)14時～ 板野町民ふれあいプラザ
主な議決事項：平成16年度決算、平成17年度収支報告、平成18年度事業計画 等

★編集後記★ トリノ五輪が閉幕し、寒かった冬も終わり、いよいよ春を迎えようとしています。各地域の土地改良区さん、水利組合さんでは通水に向けた準備も始まることと思います。本号でご紹介しました「新しい水の使い方」について、地域の皆様が顔を合わされた際、是非話題に取上げて頂ければと思います。(平成18年3月23日)

お問い合わせ先

中国内閣農政局西国東部農地防災事務所 板野郡板野町川崎字庄境 2-1 電話 088-(672)-5252
吉野川下流域土地改良区 鳴門市大麻町萩原字アコメン 3-1 電話 088-(683)-5811
(発行：水土里ネット吉野川下流域)



きれいな水
豊かな農業

～ 下流域だより ～ Vol. 5

本号の話題

- 新しい“水”の使い方
- シリーズ：事業の目的・効果
- 現場での“ちょっとした”取り組み



良い思い出になったかな?
～ 現場見学会を開催 ～

2月21日、板野町矢武地区の工事現場に、板野西小学校の4年生の皆さんをご招待しました。見学会の前週には、教室の方へもお邪魔して、国営農地防災事業の目的や効果、水の大切さなどを説明させていただきました。工事現場では、見学の記念として完成間近な水路の壁面に皆さんの感想や想いを“落書き”してもらいました。



新しい“水”の使い方について一緒に考えませんか？

Q. 現在行われている国営農地防災事業では、平成23年度の事業完了を目指しているのですが、国営幹線水路からは、いつ水が取れるのですか？ また、水の利用方法はどのようなのでしょうか？

????



A. 幹線水路を通過してきた“新しい水”は、地区内の用水施設に接続できたところから順次、分水口から配水を開始します。分水口は、その周辺の農地の面積に応じた水が流れるように計画されています。しかし、分水された**新しい水の使い方**は、各々の地域の事情に合わせて考えていただく必要があります。



新しい水の使い方を検討する中で、例えばこんな課題が考えられます・・・。

開水路？

バイパス？

② 施設の整備

それぞれ地区によって現在使われている取水施設の造成時期や型式が異なっています。

分水口からの水を地区の水源とするための**受け渡し方**(接続計画)については、徳島県を中心に国営事務所、関係市町および吉野川下流域土壌改良区が連携して計画案を策定し、今後各地区へ相談に伺う予定です。理想的な配水方法は、分水口単位で地域が一体となって施設整備もしくは既存の施設に接続し、新しい組織化を行うことです。しかし、地域の事情によって様々な方法が考えられます。このため実際に利用される**地域の組織で話し合って頂き、意思統一して頂く**ことが重要かつ最優先となります！

① 水を利用するグループの変化

1つの分水口の範囲において、複数の土地改良区や水利組合等が存在する場合、共同取水になります。

登場の水はどないしょ〜かいな？

隣のA水利組合と協力？

一緒になったほうがええんかいな？

③ 水利用形態の違い

同じ分水口の範囲内でも営農作物が異なるため、用水を必要とする時期が異なる場合があります。

どんな方法が地域の将来のためになるんかいな・・・



地域の役員さんとの意見交換会の模様

工事実施に向けた具体的な調査・計画にとりかかっています！

現在、下記の地域において国営幹線水路工事の調査・計画を開始しております。準備が出来ましたら順次、地域へご相談に伺います。

国営事業の平成23年度完成に向けて、作業も更に“ペースアップ”してまいりますのでよろしく願います。



シリーズ：事業の目的・効果

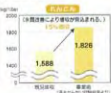
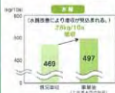
“きれいな水”で安全・安心な農作物の生産！

国営幹線水路からの“きれいな水”を利用した営農により、水稲、れんこん、大根など農作物の**収量増加や品質向上が見込まれます**。

また、“食の安全・安心”が求められている昨今、農業に利用する水についても“きれいで安全安心な水”が望まれます。水により農作物に付加価値がつく時代はもうそこまで来ているのではないのでしょうか？

水稲とれんこんの増収

れんこんの品質アップ



水質改善により、黒皮病・腐敗病の発生割合が低下し、規格品質が向上します。

